

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、週初の26日がTB3Mと20Y発行に伴う大幅不足日となったことを除けば大きな財政等要因も無く、日銀による潤沢な資金供給がなされたこともあって、当座預金残高は180兆円台半ばでの推移となった。月末残高は過去最高を更新した。

無担保コールO/N加重平均レートは先々週より若干弱含み、0.07~0.072%を中心に取引された。また、28日には大手証券から大規模な試し取りが実施されたことで、加重平均レートは0.087%まで上昇した。ターム物に関しては大手行から1W~2Wでの調達が見られた。固定金利方式の共通担保資金供給オペは、29日に3M・8,000億円がオファーされた。期落ち額1,550億円に対して応札額は770億円となり、同オペ残高の漸減状態が続いている。なお、2月2日時点での同オペ残高は7兆5,199億円。

今週は2日にTB3M発行超過、4日に各種の税・保険料揚げ、5日に10Y発行と揚げ要因が多く、国債買入オペの実施を加味しても週全体の資金需給は大幅な不足となる見通し。試し取りが増加する時期でもあることから、加重平均レートは上昇する可能性が高いと考えられるが、実勢の調達レートはGCレポートの低下傾向等を反映し、落ち着いた状態が続くとみられる。主な経済イベントとしては、4~5日に開催されるMPC、6日の米雇用統計などが挙げられる。

2. オープン市場

先週の短国市場は、アウトライ市場では0%以下で堅調な推移となった。一方で、今年に入って短国買入オペがやや多めのオファー額で実施されたにもかかわらず、年末から続いている業者の荷もたれ感を解消させるには至っていなかったため、現先レートは引き続き高位で推移する展開となった。

新発の入札は3M物が29日に実施された。入札前のWI取引において若干強めの▲0.007%の出合いが見られたものの、結果は平均落札利回り▲0.0027%、最高落札利回り0.000%と概ね予想通りの結果となった。30日に実施された短国買入オペは、前回比5,000億円減額の2兆5,000億円がオファーされた。結果は、按分利回較差0.001% 平均利回較差0.005% 按分率92.5% 応札額4兆788億円となった。応札額が前回の7兆3,892億円から減少したことや、ほぼ実勢水準の結果となったことから、月末時点では業者の荷もたれ感がやや解消されたことが窺える。週末の気配は、3Mで若干のマイナス圏となっていた。

CP市場は、月末発行を含む週となったことで、入札ベースの週間発行総額は1兆7,000億円程度まで膨らんだ。市場発行残高は、先月末時点から約6,000億円増加の17兆円程度となる見込み。発行レートは、a-1+格で0.08~0.09%台、a-1格は0.09~0.10%台前半となっていた。月末に近づくにつれて0.09%台での応札が徐々に減少した一方で、0.10%以上の水準では引き続き堅調な買いがみられた。27日には、CP等買入オペが実施された。対象銘柄が少なめであったものの、直近の現先レートの高止まり等の影響から、按分レート0.091%、落札平均レートが0.094%と前回オペ比で若干の低下にとどまった。

今週の短国市場は、5日に3M物、6日に6M物の入札が予定されている。0%以上では購入意欲が強く、引き続き堅調な結果が予想される。CP市場は、5日にCP等買入オペが予定されており、対象となる銘柄次第で按分レートの上昇も予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で3,600億円程度の還収超見通し。財政資金は、2日のTB3M発行超過、4日の税・保険料揚げ、5日の10Y発行を中心に8兆6,600億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で8兆3,000億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<2日>TB3M;償還29,100億円・発行57,000億円 <4日>TB2M;償還25,000億円/交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円 <5日>10Y;発行24,000億円<6日>預保借入;期日1,300億円・新規600億円

| 2015年 | 銀行券要因 | 財政等要因 | 資金過不足 | オペ | 期日 | 新規実行 | オペ合計 | 実質過不足 |
|--------|---------|----------|----------|----------------------------------|---------------------------|------------------|----------|----------|
| 2/2(月) | 1,600 | △ 33,600 | △ 32,000 | 全店共通(固) CP買入 社債買入 ETF買入 | △ 1,600 △ 600 △ 100 | 800 | △ 1,100 | △ 33,100 |
| 2/3(火) | 2,000 | △ 1,000 | 1,000 | 国債買入 短国買入 | | 25,000 12,000 | 37,000 | 38,000 |
| 2/4(水) | 1,000 | △ 30,000 | △ 29,000 | | | | 0 | △ 29,000 |
| 2/5(木) | 0 | △ 24,000 | △ 24,000 | | | | 0 | △ 24,000 |
| 2/6(金) | △ 1,000 | 2,000 | 1,000 | 全店共通(固) | △ 10,000 | | △ 10,000 | △ 9,000 |
| 週間合計 | 3,600 | △ 86,600 | △ 83,000 | | △ 12,300 | 38,200 | 25,900 | △ 57,100 |

(注) 上表の2/2は日銀予想、2/3以降は当社予想。

| | 国内主要経済指標 | 国債等入札予定 | 海外主要経済指標 |
|--------|---|-----------------------------|--|
| 2/2(月) | 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00) | | 12月の米建設支出 1月の米個人所得・消費支出 1月のISM 製造業景況指数 |
| 2/3(火) | 2月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50) 1月のマネタリーベース(日銀 8:50) | 10Y 24,000億円 2/5発行 | 12月の米製造業新規受注・出荷・在庫 |
| 2/4(水) | 宮城県金融経済懇談会にて岩田副総裁講演 12月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 10:30) | 交付税借入 10,500億円 2/18借入 | MPC(英中銀金融政策委員会,1日目) 1月のISM 非製造業景況指数 |
| 2/5(木) | | TB3M 57,000億円 2/9発行 | MPC(英中銀金融政策委員会,2日目) 12月の米貿易収支 |
| 2/6(金) | 1月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 12月の景気動向指数速報(内閣府 14:00) | TB6M 35,000億円 2/10発行 | 1月の米雇用統計 12月の米消費者信用残高 |

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。